

DX戦略をカギに、 JFEグループ創立以来最大の変革に挑戦します

JFEグループを取り巻く経営環境は、中長期的な内需減少、グローバル競争激化、カーボンニュートラル等の気候変動対応、新型コロナウイルスの感染拡大など、かつてないほど急激かつ大幅な変化の途上にあります。

こうした変化に素早くかつ柔軟に適応し、中長期的な企業価値向上を確実に実現することを目指して、2021年度から2024年度までを対象とした「第7次中期経営計画」を昨年5月に策定・公表しました。私たちは本計画期間を創立以来最大の変革期ととらえ、DX戦略はその変革の成否を左右する重要戦略の一つと位置づけています。8月には、その内容を社内外へ明確に示すために、「JFEグループDX戦略説明会^{*1}」を開催しました。

JFEグループの各事業は、グローバルレベルでの激しい競争下にあります。グループが長年積み重ねてきた豊富なデータ・ノウハウ・技術は、他社が容易に真似できない貴重な財産であり、高い競争優位性を有する価値創造の源泉です。DXはそれらを最大限に活用するために不可欠な戦略であり、従来から鉄鋼事業での全製造プロセスのCPS化、エンジニアリング事業でのデータ連携による建設・操業現場の業務改革など、生産性向上につながる内部最適化等への取り組みを精力的に進めてきましたが、今後はこれに加え、鉄鋼事業でのサービス外販プラットフォームの構築、エンジニアリング事業でのボイラ発電プラント向け予防保全管理サービスの提供、商社事業でのデジタルを活用した新規ビジネスの創出など、外部（社外）への付加価値提供や新規ビジネス創出へとチャレンジします。DX戦略を新たな段階へと進化させ、環境変化によるリスクを成長機会へと転化する足掛かりとしていきたいと考えています。

一方、DX戦略の拡大と進化に伴い、高度化・複雑化するサイバー攻撃や情報漏洩リスクへの対応の重要性はますます高まっていくと想定されます。情報資産を守り、事業活動を安全に推進するためのセキュリティ管理活動は、DX戦略推進と両輪をなす極めて重要な活動であり、「JFE-SIRT」^{*2}を中心にセキュリティ対策とガバナンス強化をさらに進めていきます。

本レポートでは、各事業会社のDX戦略の具体的な内容と成果、グループ横断的な取り組み等を詳細に記載しております。本レポートが皆様にとって有益な情報となり、JFEグループのDX施策に対するご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

^{*1} JFEホールディングスHP（ニュースリリース内）
<https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/management/plan/index.html#20210826>

^{*2} JFE-SIRT JFE Security Integration and Response Team

JFEホールディングス株式会社
常務執行役員
北島 誠也

